



2024年11月10日 七五三

今年の待降節から始めよう

フィラデルフィ・パウオール主任司祭

南山教会の皆様、今年の待降節は典礼歴年の「c」年に入ります。待降節には「目覚めよ、道を整えよ、喜び、光に従え」という四つの呼びかけに応えようと心を改めます。待降節は、イエス・キリストの御降誕を準備する時期だからです。この四つの呼びかけは典礼と聖書の朗読を通して私たちに届くものです。そして、キリストは私たち一人ひとりの心の中に改めてお生まれになることを望んでおられるので、「目を覚ます」ことや「道を整える」とともに、自分の力を尽くすことが必要です。それは、心の準備、考え方と生き方のやり直しです。「喜び」と「光」は、その結果であり、キリストの到来による賜物なのです。心の改めをした人だけが、主の喜びと光に留まることができるのです。そして、この「主の喜び」と「光」がキリストの弟子の特徴です！聖パウロは「主に置いて常に喜びなさい。重ねて言います。喜びなさい。主はすぐ近くにおられます。」と強調しています。使徒パウロが言う喜びは世俗的な喜びではありません。この言葉を手紙に書いた時には牢獄に入っていたのです。使徒パウロが言う喜びは主の喜びです。目を覚ました人、心の「道」を整え、それに従い始めた人こそ、この喜びを見出し、伝えることができます。みなさん、これからの世界はどうなるでしょうか。わかりません。来年二〇二五年は聖年「希望の巡礼者」の年です。名古屋教区は十二月二十九日の日曜日に行われる布池教会での聖年開始ミサで、松浦司教様と共に聖年に入ります。傷ついた世界のために恵みがたくさん与えられると思います。これから始まる待降節こそ、キリストを待ち望み、キリストと共に新しい日々に入ることができまますようにと祈りましょう。

平日のミサ時刻：

月曜日・水曜日・木曜日・土曜日 午前7時
 第4土曜日 午前10時30分 子供のミサ(ナザレ館)
 火曜日 午後7時
 金曜日 午前10時 初金曜日 午後7時
 ゆるしの秘跡は各主日ミサ前に受けることができます。

主日のミサ時刻：

土曜日 午後5時 (ミサ前、午後4時 聖体礼拝)
 日曜日 午前8時・10時・午後6時
 Sunday Mass in English 9:30 am
 (in the Marian Hall)
 ベトナム語のミサ 第4日曜日 午後2時

※前号では時節の關係で飛び入りで「枢機卿」の話を挟みましたが、今回はまた第2バチカン公会議 典礼憲章の中からの「典礼暦年」に話を戻します。

四旬節

四旬節の二重の性格が、典礼においても典礼に関する信仰教育においても、いっそう明らかにならなければならない。すなわち、とくに洗礼の記念または準備を通して、そして悔い改め

を通して、信者は神のことばをいっそう熱心に聞き、祈りに励んで、過ぎ越しの神秘を祝うために備えるのである。したがって、

a 四旬節の典礼に固有の洗礼の要素をいっそう豊かに用いなければならない。適当であれば、かつての伝統の中から、あるものを復興しなければならない。

b 悔い改めの要素についても、同様のことをいわなければならない。

ない。信仰教育については、罪の社会的影響とともに、神に背くこととして罪を忌み嫌うといふ悔い改めに固有の性格を信者の心に教え込まなければならない。また、悔い改めの行為における教会の役割をおろそかにせず、罪びとのための祈りを熱心に勧めなければならない。

四旬節の悔い改めは、単に内的で個人的なものであるだけでなく、外的で社会的なものでなく、現代とそれぞれの地域の可

能性、そして信者の状況に応じて促進され、第22条にある権威者によつて奨励されなければならない。

過ぎ越しの聖なる断食は、主の受難と死の金曜日にも守られなければならない。また、適当であれば、聖土曜日にも続けるべきである。こうして高められるべきである。こうして高められ開かれた心で主の復活の喜びを迎えるようにしなければならない。

聖人の祝日

聖人は、伝統に従つて教会に

聖人の祝日は、キリストが自ら驚くべきわざを告げ知らせ、模倣すべきふさわしい模範を信者に示している。

聖人の祝日を、救いの神秘そのものを思い起こす祝日に優先させてはならない。それらのうちの多くは、各部分教会、国、修道会

で祝うべきものとして残されるが、真に普遍的な重要性をもつことが明らかでない聖人を記念する祝日のみを、普遍教会に広げることとする。

典礼憲章に記載された「典礼暦年」に関するお話はここまでと

前回に引き続き、分かち合いたいことがあります。僕の使っているワープロが「教会」を「協会」と変換したことがあります。珍しいことではないし実際に存在する言葉です。では前に進むように協力をして頂い

「協会」といえば〇〇協会、例えば同業他社が加入して発展発達のために相互を活用するよう



2024年12月1日10時ミサで神言会聖遺物展示



志願生



有期誓願の方々



聖堂玄関 掲示 神言会の神学生紹介



ザビエルハウスの方々



主の降誕ミサ時間のお知らせ



夜半ミサ 12月24日(火) 17時 19時 21時



日中ミサ 12月25日(水) 7時 10時

*昨年と時間が変わりました。



2024.11.10 教会周辺清掃

祝福と祝別についての

ワンポイント

川原 稔

カトリック教会における「祝福」と「祝別」は、どちらも物事や人を神に奉獻し、特別な恵みを祈る行為ですが、その意味や対象、実施者には違いがあります。以下に詳細を説明します。

一、祝福

意味…祝福は、神の恩恵や保護を祈り、物事や人を聖なる目的のために強化する行為です。日常生活で神の存在を意識する助けとなります。

対象…人(例: 新郎新婦、子供、病人、信者全体)。物(例: 家、車、ロザリオ、メダイ、十字架)

実施できる者

司祭・助祭…通常の祝福を行う。

一般信徒…家庭などで簡単な祝福を行う場合がある(典礼的ではない日常的な祈り)。**特徴**…「神の恵みの祈り」に重点があり、対象を日常生活で使うための準備としての意味を持ちます。

二、祝別

意味…祝別は、人や物を神に「完全に奉獻」し、聖なる目的に専念させる行為です。日常の使用や一般的な目的から切り離されます。**対象**…人(司祭、修道士、司教など)。物(教会、祭壇、聖杯、墓地など)

実施できる者:

司教、司祭…聖体の祝別、聖具など

特徴…厳粛な儀式の中で行われ、対象が神聖な状態になると認識されます。

三、祝福と祝別の違い

項目	祝福	祝別
意味	神の恵みを祈る行為	神への完全な奉獻
対象	人、物、活動	聖職者、聖別物(教会、祭具など)
効果	神の守護を求める	神聖な目的に限定される
実施者	司祭、助祭、一部信徒	司祭、司教

以上のように、「祝福」は日常生活に寄り添う祈りであり、「祝別」は神聖な目的に限定する厳粛な儀式です。



2024.11.3 納骨堂追悼ミサ



2024.11.10 七五三祝福のミサ

ワンポイントひらめき
秋元恭子
今回は友人が話してくれたことが感動的だったので皆様にも分かち合いたいと思います。
「ある死刑囚が毎日靴音にもビク

ビクして明日をも知れないその日を怖れていました。とうとう怖れていた看守が来ました。戸を開けると「あなたはもう自由です。出ていいですよ。」と言ったのです。
イエス様は私たちに同じことをしてくださいました。」
イエス様が私たちの身代わりになつて十字架上で死んでくださいましたから、私たちは永遠の救いをいただきました。そのおかげで死刑が廃止され、私たちは神様と和解し赦され、神の子とされ自由の身になったのです。
この無償の恵みにただただひれ伏すばかりです。賛美と感謝を捧げます。皆様いかがですか。
私たちは聖人になれますか
「その17」
レジオマリエ創立者フランクダフ
任務の正しい理念
血を洗うことがあなたの任務であるなら、その代わりにベネディクションに逃げてはいけません。その日には他のものより重要とは思えない多くの任務があります。この理由から我々は瞬間の利便性に合わせてそれらを脇に置くことを考えてしまいます。しかし、そのような行動は間違っており、強い性格を築き上げるものではありません。一日の本当の価値はすべ

ての義務を正確に果たすことにあります。大切なものはその重要性がそれをするを容易にします。
小さな事を特に見てください。あなたの一日をすべての線が適切な場所にある絵として考えてみましょう。そして最も細い線が最も重要な場所になるかも知れません。あなたがなすべきことを最も細かい部分に至るまでやってください。それは、誰かがあなたを監督しているからではなく、あなたがそれをする事になっているからです。
こんな諺があります。「死は羽のように軽い。義務は鉛と同じくらい重い。」義務に奉仕する人生は辛い生涯になります。しかし、それがその人の人生になります。
東洋の教訓があります。日本の職人は、自分の作品の中身を完成させるのに何日もの観察時間を費やしていました。彼は尋ねられました。「なぜこの時間を無駄にするのですか。誰もあなたの作品を見ないかもしれません。」彼は答えました。「私もそれを自分で見えないのですか。」私たちがその答えを付け加えます。「神がそれを

12月1日

報告・連絡事項

1. 12・1月予定確認

(信徒代表)

別紙のとおり。

各月第2週に教会周辺清掃。12

月8日(日)10時ミサ後巡礼説明

会。その後予約受付開始。12月14

日15日共同回心式・待降節黙想

会。

2. バザーについて(バザー実行

委員会)

11月評議会以降に材料費の清算

を追加された方があったため、収

益の最終報告が今月となった。

3. ヨセフ会バーベキューについ

て(ヨセフ会)

11月17日(日)10時ミサ後、親睦

の意味でバーベキューを行った。

4. 教会の設備について(宮繕委

員会)

26日、27日とマリア館1階の空

調修理を行いました。ガスの漏

れ箇所を特定できず、12月4日に

再度行うことになりました。

大聖堂音響について…スピー

カーの配置、機器の整理、アンテ

ナの配置など一通りの対策が終了

し、改善したと思われま。マイ

クの音量調整は最適な形となつて

おりますので、変更することでは

備が生じる可能性があるため、変更を行わないようお願いいたします。

マイクの取り扱いは、叩くなど

強い衝撃をあてえず、作動してい

るか確認したいときは「マイクテ

スト」等の音声で確認してください。

5. ベトナム共同体活動報告(ベ

トナム共同体)

11月24日(日)は、ベトナム殉教

聖人一一七名のお祝いがあり、約

三〇〇名が来られ、若い方々が南

山教会に足を運んで下さった。今

後二世、三世が教会を支えてくれ

るので、我々も支えていきたい。

*1988年6月19日、当時の教

皇ヨハネ・パウロ二世によって、

1745年から1862年にかけて

ベトナムで殉教した一一七名の

カトリック信徒が列聖されました。

この殉教者たちは「ベトナム

の殉教聖人」と呼ばれています。

南山教会におけるベトナム共同体

は、これらの殉教聖人を保護聖人

(記念日…11月24日)としていま

す。現在そして将来において、日

本のカトリック教会には若い力、

すなわち若者たちの存在がますます

重要になると考えています。教

会を支えてくれる彼らへの期待を

胸に、私たちは可能な限りの活動

を続けてまいります。



とテレジア会の来日65周年を記念するミサとしても捧げられます。

審議・相談事項

1. 75周年記念ミサについて(典礼委員長)

2025年12月20日(土)10時か

らカトリック南山教会大聖堂にて

開催予定。歴代主任司祭の後藤神

父様、ブルム神父様、ジェブラ

神父様、ボグダン神父様、新立神

父様にお声がけする。助任の方

は、管区を通じて周知する。

2. 菊地枢機卿へのお祝いについ

て(信徒代表)

12月8日に任命を受ける菊地新

枢機卿は、過去に、南山教会と深

い関係があった。任命に際して、

南山教会からも何かお祝いを送つ

てはどうかと考える。引き続き検

討します。

3. 信徒協50周年記念ミサへの協

力について

2025年2月15日に信徒協五

〇周年を記念して、感謝ミサと音

楽祭が開催される予定です。南山

に対し、聖歌隊の参加と、テゼの

祈りへの参加が依頼されていま

す。

テゼの祈りについては、秋元さ

んから引き受ける旨連絡をいただ

いています。聖歌隊の参加も引き

受ける方向で検討したいです。

12月7日の典礼委員会で確認す

6. テレジア会記念ミサ(典礼委員)

12月8日(日)10時ミサは、テレジア会の教皇庁許可一〇〇周年

る予定。
4. その他

2025年 通常聖年について、12月29日(日)9時30分に布池カテドラルにて開幕式を含めミサが行われます。巡礼も計画されています。今後、教会のお知らせで紹介していきます。

各会報告

マリア会 2024年11月8日
(金) 第7回マリア会例会

墓参を兼ねて遠足

南山教会9時出発。バスは満員。この日の朝は突然の寒さに驚きましたが日中は青空になりホッとしました。

今年の遠足は墓参を兼ねて多治見修道院へ出かけました。長いコロナ禍の間、墓参もかなわず、帰天なされた多くの神父様方の追悼を含めたごミサになりました。

また、ブルム神父様が、多治見修道院にいらっしゃることを知り、ごミサはパウロ神父様、ブルム神父様、ウイル神父様の共同司式で執り行われ、思いもよらぬお恵みを頂くことができました。

ブドウ畑を歩き、お墓で花束と全員でロザリオの祈りをお捧げいたしました。

ブルム神父様はオリベストーリーで皆様と握手を交わし、お別れ

しました。

パウロ神父様には、突然の葬儀が入りお忙しいところ南山到着の折には出迎えてくださり感謝でした。

ウイル神父様には終わりの挨拶とお祈りをして頂き、ありがとうございました。

参加された皆様のご協力と、参加できなかった方々のお祈りにより、恵みと喜びの暖かい秋の遠足となりました。 神に感謝



社会委員会 12月7日(土)教区社会員会が行われます。

典礼奉仕者の会

・11月24日(日)10時ミサ後、朗読奉仕者の集いを開催。主任司祭を交えて聖書朗読するにあたって、気を付けていること意識する事など分かち合う良い機会となった。

・12月1日(日)10時 神言神学院の皆様でのミサ奉仕

・12月8日(日)10時 テレジア会記念ミサのため、テレジア会の方が第二朗読と共同祈願追加、奉納を担当

レジオマリエ

11月16日(土)名古屋クリアで、

南山教会の神の母聖マリアブレシデイウムの年間報告がありました。会員が能登半島の被災地でのボランティアに参加しました。

11月17日(日)京都河原町教会にて、レジオマリエ名古屋クリアの年間報告がありました。

広報委員会

11月2日(土)に月報11月号を発行しました。皆様からの巡礼記、活動報告、写真等、月報への投稿をお待ちしております。投稿は必ず氏名をご記入下さい。

教会学校

・11月10日(日)ミサで6人のお子様たちが七五三の祝福を受けました。教会学校の小学生が先唱、朗読を担当しました。ミサ後、ナザレ館で輪投げ、スパーボールすくい、射的、千本引きなどミニ縁日でお祝いしました。

・12月22日(日)10時ミサ後、大聖堂にてクリスマス劇をします。皆様、ぜひご観劇下さい。

次回 1月5日



赦しの秘跡

ゆるしの秘跡は、悔い改める者の三つの行為と司祭のゆるしとによって成り立っています。悔い改める三つの行為とは、痛悔、司祭への罪の告白、償いを果たす決意ならびにその実行です。

悔い改め(痛悔)は、信仰から生じる動機に基づくものでなければなりません。悔い改めが神への愛から生まれた場合は「完全な痛悔」といわれ、他の動機に基づく場合は「不完全な痛悔」といわれます。

神や教会と和解したいと思う者は、入念な良心の糾明の後で思い起こした、まだ告白していないすべての大罪を司祭に告白しなければなりません。小罪の告白は厳密な意味では必要ではありませんが、教会は小罪も告白するよう強く勧めています。

(カトリック教会のカテキズム)
司祭は各主日のミサ開催一分前から告解室にいます。不在の場合、主日以外の時間帯に告解を希望される方は事務所にお知らせ下さい。今年の待降節共同回心式は12月14・15日です。恐れれることはありません。イエスはあなたを愛しておられます。

信者の消息

帰天

神の栄光にあずかれますように

- アンメシアタ 広木 啓子 (72歳)
- フランシス・ゲオルグ 瀧 佳弘 (77歳)
- マリア・ミカエラ 永田 元子 (98歳)
- パウロ 津田 悦三郎 (94歳)

維持費納入について

維持費の袋は教会事務所にて保管しております。
事務所にて直接ご納入下さるか、以下の口座にお振込み頂くこともできます。よろしければご利用下さい。
○三菱UFJ銀行八事支店 普通預金 1737813
カトリック南山教会 維持費口
○郵便口座 00880-8-70893
カトリック南山教会 財務委員長・伊藤恭輔



2024年12月・2025年1月行事予定表

	教会典礼暦	南山教会行事	各会活動	教区行事・その他
12月	1(日)待降節第一主日(C年) 9(月)無原罪の聖マリア 25(水)主の降誕 29(日)聖家族	14(土)15(日)共同回心式 24(火)主の降誕の夜半ミサ 17:00(要約筆記付き) 19:00(日英合同) 21:00 25(水)主の降誕ミサ (7:00 10:00) 31(火)10:00旧年感謝ミサ 19:00年末感謝ミサ	1(日)小教区宣教司牧評議会 6(金)マリア会例会(懇談会) 7(土)典礼委員会 (土)要約筆記付きミサ 15(日)中高生会クリスマス会 21(土)子ども部屋クリスマス会 22(日)ヨセフ会班長会・エマオの会・ 22(日)教会学校クリスマス劇	1(日)宣教地召命促進の日献金 21(土)レジオマリエ名古屋クリア
1月	1(水)神の母聖マリア・世界平和祈願日 5(日)主の公現 12(日)主の洗礼	1(水)新年平和ミサ・10:00成人式 管区に予算書提出	(土)典礼委員会 5(日)小教区宣教司牧評議会、教会学校・中高生会始業式 17(金)マリア会新年会 12(日)中高生会始業式 25(土)子ども部屋 25(土)要約筆記付きミサ (日)ヨセフ会班長会	1(水)世界平和の日 (土)レジオマリエ名古屋クリア 18(土)~25(土)キリスト教一致祈祷週間 19(日)新成人を祝う新年の集い 26(日)世界子ども助け合いの日献金